



医労連秋の全国縦断キャラバンがスタート

さつそく都庁に街頭に 東京医労連

日本医労連の二〇一〇年秋、いのちまもる全国縦断キャラバン行動がいよいよ九日から始まりました。東京医労連でも、このキャラバン期間中に、さまざまな行動に取り組みます。まずは、キャラバン開始に先立っておこなった、三つの行動について、報告します。



第1弾 8月30日 対都交渉

東京医療関連協（東京医労連と都立病院の仲間などで構成）として、東京都保健福祉局医療政策部と交渉。東京都第七次需給見通し策定にあたり、現場の実態を訴え実効ある計画策定を求めるなどしました。



第2弾 9月7日街頭署名in原宿



九月七日には、民医労企画の宣伝行動に、大学部会や一般部会も合流して、総勢22名で、日陰のない炎天下の原宿駅前まで道ゆく人に署名を訴えました。外国人観光客にも、話しかけられるなどインターナショナルな雰囲気の中、午前11時から正午までの間に、83筆の署名にご協力いただきました。午後からは、日本医労連の看護要求実現全国交流会に参加しました。

第3弾 9月8日看護闘争委員会・組合訪問



9月7日 原宿駅前 神宮橋にて

すべての組合で取り組もう、を合言葉に、看護闘争委員会では、加盟の各労働組合を訪問し、励ましあって年内10万筆の署名を、とがんばっています。8日も全国交流会を終了後、土砂降りの雨の中、3コースに分かれて、7つの組合を訪問。この秋の運動を一緒に盛り上げましょう、と訴えました。